

●文化の復興、心の復興

あの起こった大震災。あれから3年。本格的な復興に向けて、釜石は今どんどん動き始めている。そんな中、ひっそりと心やさしき人々がつないだ、ちいさな復興のものがたりがあったことをご存知でしょうか？



生き残った活字たち



谷川俊太郎氏の作品「たりのる」



手動の活版印刷機

- 出品作家／アーティスト
 (ことば) 今福龍太 OKI
 今津杏子と Damon Kowarsky
 乙益由美子 富田恵子
 姜信子 早川純子
 國峰照子 廣瀬理紗
 管啓次郎 松田圭一郎
 谷川俊太郎 松林誠
 多和田葉子 溝上幾久子
 ドリアン助川 (敬称略)
 ばくきよんみ 穂村弘
 栞野浩一
- 場所：釜石商店街「みんなの家 かねだて」
 只越町に2012年オープンした地域の交流拠点



■主催・運営
 @リアスNPOサポートセンター
 2004年設立した釜石発のNPO法人。活動内容は復興まちづくりと中間支援。

■企画
 馬喰町ART+EAT
 活字ユニットKAMAISHI LETTERPRESS

facebookで最新情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kamaishiletterpress>



朗読する乙益由美子氏と聴き入る参加者たち



作品を楽しむ来場者たち

「足りない活字のためのことば」展 住田町巡回展
 住田町世田米駅78「泉田家式番蔵」2階
 会期 6月8日(日)～23日(月)／金・土・日・月の10:00～15:00

本企画は釜石巡回後、現在、住田町に巡回中。
 見逃した方はぜひこの機会に訪ねてみては。歴史ある蔵を会場にチェーンソーアート作品の展示など、住田町ならではの特別企画もあります。
 【お問い合わせ先：住田町教育委員会 担当：村上 ☎0192-46-3863】

よみがえる活字

詩

「足りない活字のためのことば」展

5月4日(日)～6月1日(日)に開催された

津波が襲った藤澤印刷所(浜町、現フジサワ)。そこにはかつて活版印刷に使われて古い「活字」がありました。棚から崩れ落ちて、使えなくなり、廃棄されようとしていた活字たちは、がれき撤去のボランティアに参加した会社員、坂井聖美さんの目に留まりました。ものがたりは、ここから始まります。

持ち主である藤澤敏さんの承諾を得た坂井さんは、20キロほどの活字を土のう袋に詰め、東京の自宅に送りました。周りに活字の存在を話していく中、出会ったのが銅版画家の溝上幾久子さん。くしくも小さな活版印刷機を購入したばかりで、活字を探していました。活字は十分に文字が足りておらず、1つの文章の中で「ひ」が2回しか使えない、小さな「つ」がない、などさまざまな制約がありました。

溝上さんは活字の話を、個展を開催した縁のある東京都千代田区のギャラリー「馬喰町ART+EAT」に持ち込みました。その代表である武真理子さんは、あえて文字が足りない制約の中で創作した作品で展覧会をしてはどうか、と溝上さんと企画を練ることになりました。ここから生まれたのが、「足りない活字のためのことば」展です。

武さんの呼びかけにこたえ、谷川俊太郎氏をはじめ12人の作家たちが活字のためにことばを紡ぎ、溝上さんが釜石の活字で作品を刷り上げました。さらに、7人の版画家による挿絵も、ことばに寄り添い、活字はいきいきとよみがえりました。

2013年に東京で開催された展覧会は、大変な話題となりました。坂井さんが釜石の皆さんにも見てもらえたら、と考えていたところ、今回の会場の設計担当者のひとりである、伊東豊雄建築設計事務所の高池葉子さんとの出会いに恵まれました。会場運営の「@リアスNPOサポートセンター」をはじめ、地元の方々の協力で、念願の里帰り巡回展が実現することとなりました。

期間中には朗読会も催され、作家の乙益由美子氏、ドリアン助川氏、ばくきよんみ氏のほか、藤澤敏さんをはじめ、地元協力者による朗読が行われました。まさに情景が目に浮かぶような迫力ある作家の朗読、素材でありながらも心に響くあたたかさに満ちた協力者の朗読に参加者は目で、耳で、肌で、五感で朗読を感じていました。おだやかでやさしい空間がそこにありました。



5月30日に行われた天神町復興公営住宅・子ども園の安全祈願祭(左)と完成イメージ図(右手前が子ども園)(右)

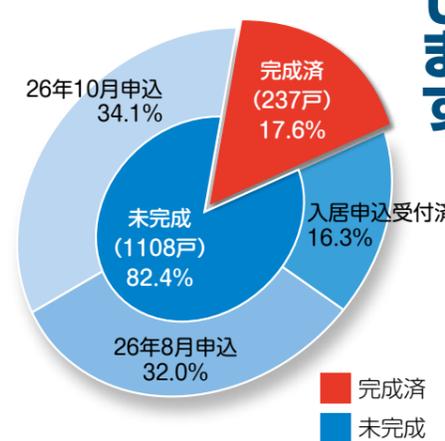


釜石市復興公営住宅の整備計画 (H26年6月現在)

建設場所	予定戸数	着工予定時期	完成予定時期	申込時期	
上中島地区 I期	54		完成：入居済		
野田地区	32		完成：入居済		
花露辺地区	13		完成：入居済		
大石地区	3		完成：入居済		
平田地区	126		1月完成：2月入居開始 3月完成：4月入居開始		
箱崎白浜地区	9				
上中島地区 II期	156	H26.2月	H27.2月	申込 受付済	
尾崎白浜地区	5	H26.8月	H27.3月		
唐丹町片岸地区	6	H26.8月	H27.3月		
佐須地区	2	H26.11月	H27.6月		
小白浜地区	30	H26.11月 H26.11月	H27.9月 H27.9月		
荒川地区	8	H27.4月	H27.11月		
本郷地区	12	H27.7月	H28.2月		
東部地区(大町1号)	44	H26.6月	H27.3月		H26.8月
東部地区(天神町)	50	H26.9月	H27.8月		
東部地区(只越町)	30	H26.10月	H27.9月		
東部地区(大渡町)	24	H26.10月	H27.9月		
東部地区(大町2号)	36	H26.12月	H27.12月		
東部地区(大町3号)	36	H26.12月	H27.12月		
東部地区(大町4号)	47	H27.4月	H28.3月		
東部地区(大町5号)	34	H27.10月	H28.9月		
東部地区(浜町)	64	H27.6月	H28.12月		
東部地区(大只越町)	25	H28.4月	H29.3月		
東部地区(上記以外)	40	H26.4月～ 随時	H27.10月～ 随時	H26.10月	
(東部地区小計)	430				
鶴住居地区(日向)(県営)	30	H26.9月	H27.7月		
箱崎地区	29	H26.10月～	H27.6月～		
片岸町地区	22	H26.10月	H27.9月		
室浜地区	9	H27.4月	H27.11月		
片岸町地区	19	H27.10月	H28.3月		
嬉石地区(県営)	86	H27.4月	H28.3月		
松原地区(県営)	64	H27.4月	H28.3月		
根浜地区	13	H28.4月	H28.11月		
桑ノ浜地区	12	H28.4月	H28.11月		
両石地区	25	H28.3月	H29.2月		
〃(県営)	30	H28.3月	H29.2月		
鶴住居地区(中心部)	40	H27.10月～ 随時	H28.4～ 随時		
	80	H27.10月～ 随時	H28.10月～ 随時		
合計	1,345				

*補足 完成する団地ごとに入居申込みを受け、募集戸数を上回った場合は、抽選で決定。県営住宅については意向登録の扱いで、県で改めて受け付けます。

復興公営住宅の整備進捗状況



市は、昨年までに行った被災者住宅再建意向調査の結果をもとに、完成済みを含めて全1345戸(県施工分含む)の復興公営住宅の整備を予定しています。そのうち、上中島(I期)や野田、花露辺など237戸(17・6%)が完成済みであり、残り1108戸(82・4%)の完成を目指します。

5月30日には、認定子ども園を併設する天神町復興公営住宅の安全祈願祭を行い、6月から工事に着手し

ました。同施設は、これまで数回の入札不調などで、当初の予定から約1年遅れて建設開始となりました。

また、入居申し込みについて、唐丹地区と佐須地区の住宅は5月までに受け付けを行ったほか、入居希望者が最も多い東部地区は8月、そのほかの地区については10月を予定し、今後整備する全住宅の入居世帯が本年中に決まる見込みです。

各復興公営住宅の整備予定箇所や完成、入居申し込みの時期などは左表のとおりです。市は、被災者が一日も早く入居できるよう整備を進めていきます。

復興公営住宅整備予定のお知らせ
 順次入居を募集します